

伝統医学TAG の状況

慶應義塾大学 渡辺 賢治

1. WHO伝統医学分類 (ICTM: international classification of traditional medicine) 国際記者会見

平成22年12月6日に東京フォーリンプレスセンターにおいて伝統医学分類作成に関する国際記者会見を行った。

それに先立ち厚生労働省省議室において本プロジェクトの説明をウースタンが行った。

2. 第2回ICTM会議

平成22年12月7日～10日 於慶應義塾大学医学部

- ICTMコンテンツモデルを決定した。
- 伝統医学分類のおおよその構造を決定した。

3. 介入WGにおける会議ならびにプロジェクト・アドバイザリー・グループ (PAG) 会議

平成23年2月7～9日 介入会議 於WHO/WPRO事務所 (マニラ)

平成23年2月10～11日 PAG会議 於WHO/WPRO事務所 (マニラ)

介入のコンテンツモデルについて話し合った。ICTMアルファ版についての今後の予定ならびにフィールド・トライアルの進め方について議論した。

4. α 版作成とレビュープロセス

α 版を現在作成中であるが、レビューを60名（日本からは13名）選出し、エンティティとコンテンツモデルをスプレッドシートにおいてそれをレビューしてもらい、 α 版を確定する。

5. 伝統医学分類の構造決定会議

平成23年3月14日～17日 ジュネーブWHO本部において伝統医学分類の構造決定のための会議を行うため渡辺が参加。

6. 今後の予定

平成23年3月29～30日 用語WG会議

平成23年3月30日 診断分類WG会議

平成23年3月30日 情報WG会議

平成23年3月31日～4月1日 情報WG会議

平成23年4月2～3日 介入WG会議

いずれも香港で行い、香港の会議でアルファ版を確定して（実際には少し先になると思われる）、3年間のフィールド・トライアルに入る予定。